

一般質問通告書（一覧）

6月議会

平成27年6月17日～25日

番号	件名	氏名
1	町内各地区に人の流れをつくっていく施策を	山戸 貞夫
2	離島における地域力維持と医療・介護問題	山戸 貞夫
3	地域の資源や魅力を活用した取り組みを	清水 敏保
4	空き家対策の取り組みは	清水 敏保
5	上関城山歴史公園を年間通しての憩いの場に	岩木 和美
6	上盛山風力発電事業について	河村 満生
7		
8		
9		
10		
11		

6件 4人

## 一般質問通告書(要旨)

平成27年第2回上関町議会定例会(6月)

◆質問者1 山戸議員	
質問事項	質問要旨
1. 町内各地に人の流れをつくっていく施策を	<p>室津地区に各種施設が整えられ、室津地区では人の動きが活発になってきている。しかし、室津地区以外では、まだ人の動きがあまり見えてないと思う。現状を打開する重要な施策として、未だ決定されていないが上盛山を中心とする整備計画がある。この計画が実現されれば、単に地域における一つの事業の完結ということにとどまらず、周辺地区への人の流れのポイントとなり得るのでは。他地区でも、魅力発信に努めていけば、室津地区の各種施設との相乗効果があらわれて、総合的な人の流れが実現されるのでは。</p> <p>町内各地区へ連動する波及効果は取組み次第で可能になると思うが、町長の思いはいかがか。</p>
2. 離島における地域力維持と医療・介護問題	<p>離島である祝島では、地理的条件と島の現状を踏まえるなら、必要な事業の力点が少し変わってくるのではないかと考える。そういう意味で、祝島地区の様々な問題については危機感をもっている。</p> <p>離島における医療・介護に携わる人たち、離島高齢者、中高年の帰島者に対する町長の思いをお聞かせ願いたい。</p>

◆質問者2 清水議員	
質問事項	質問要旨
1. 地域の資源や魅力を活用した取り組みを	<p>第4次上関町総合計画が作成され、これからは基本計画に基づき、具体的な事業を実施していく段階となる。事業を進める体制づくりの強化が予想され</p>

	<p>るが、その点についてどのように考えているのかお尋ねしたい。また、離島観光の振興について計画されているが、たとえば祝島の場合は、日常生活のスタイルが観光資源につながり「自然体験型の特色ある観光」となる可能性を秘めていると思う。このように、町内全地域を対象に、隠れた資源の調査や掘り起しをもう一度やっていく必要があると思う。そして、上関町の魅力を多くの方に知っていただき、交流人口を拡大していくことが観光振興につながっていくと考えるが如何かお尋ねしたい。</p>
<p>2. 空き家対策の取り組みは</p>	<p>最近、本町でも空き家の解体が頻繁に見受けられる。中には解体するにはもったいない家もあり、少し手を加えれば住宅として十分使用できる空き家もある。住宅が不足している本町にとっては、有効活用できないものか、もう一度真剣に考えていく必要があると思う。例えば、空き家バンクへ登録し借家として決まった住宅の修理にかかる費用を助成する制度を作るとか、町が積極的に取り組んでいくべきだと考える。空き家対策に町として、どのように取り組まれるのかお尋ねしたい。</p>

◆質問者3 岩木議員	
質問事項	質問要旨
<p>1. 上関城山歴史公園を年間通しての憩いの場に</p>	<p>上関城山歴史公園の河津桜や水仙の花は、2月初旬から3月中旬まで町内外の人達を楽しませてくれているが、現在の城山歴史公園の状態はいかがなものか。斜面には草が伸び、また遊歩道沿いの一部は草が伸びて歩く邪魔になっている。遊歩道も休憩所も整備されているので、河津桜・水仙の開花時期だけでなく一年間を通した観光地にしていく必要があると思うが、町長の考えをお伺いしたい。</p>

◆質問者4 河村議員	
質問事項	質問要旨
1. 上盛山風力発電事業について	<p>風力発電はクリーンなエネルギーなので大変良いことと思っている。昨年、町長より「上盛山風力発電事業」の提案があった。議員で先進地視察や全員協議会で検討してきた。そこで以下の4点をお尋ねしたい。</p> <p>①風力発電所の立地は上盛山付近でなくてはならないのか。他の場所は考えられないのか。</p> <p>②安定した自主財源（売電）の確保やメンテナンスを考えると2基の設置では少ないと思う。せめて、4～5基は考えられないか。</p> <p>③風力発電の専門家などによる現地（上盛山の山頂）での説明会は可能か。</p> <p>④町道惣津観音線を改良するには、上盛山風力発電事業で整備するしか考えられないか。</p>